

2008年1月23日

略歴 桃木暁子

東北大学理学部生物学科卒（発生生物学専攻）

フランス系化学企業グループのローヌ・プーラン ジャパン（株）（当時）に勤務し、技術開発室、経営企画室等で主にドキュメンテーションと翻訳を担当。

京都大学理学部研修員として人間の行動（とくに言語行動）を研究。関連分野の書物の翻訳にも従事。

京都大学留学生センター非常勤講師（日本語日本文化）、龍谷大学工学部非常勤講師（コミュニケーション原論）、大阪文化服装学院非常勤講師（ヒューマン・リレーション）、岡山大学歯学部助手（医学史）、京都女子大学現代社会学部非常勤講師（動物のコミュニケーション）を歴任。

2001年12月から総合地球環境学研究所の研究推進センター助教授（「研究成果の発信」に関する活動）、2007年2月に「学問と社会のあり方」研究会を立ち上げ、2007年11月に同研究所を任期満了退職。

現在、日本科学技術ジャーナリスト会議理事、NPO 科学カフェ京都理事。

外国語：英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語。

著書：『ヒューマン・エソロジー』（共著、福村出版、1989）、『子どもたちに語るこれからの地球』（共著、講談社、2007）。

訳書：『ヒューマン・テリトリー』（共訳、産業図書、1989）、『動物の歴史』（みすず書房、1998）、『ヒューマン・エソロジー』（共訳、ミネルヴァ書房、2001）、『プリオン病とは何か』（文庫クセジュ、白水社、2005）、『環境の歴史』（共訳、みすず書房、2007）ほか。